

維持年会費アップご協力お願いします

維持年会
原因のひとつに観光庁の
布告により、参加費徴収の
宣伝ができなくなり、新参
加者が減ったことが理由で
す。復興庁の思惑とは異な
り、どのボランティア団体も経済的に立
ちゆかない状態です。

2016年9月1日

理事会は、東北ボランティアに60回以上足を運んでいる村上裕隆君(26歳)が、機構全体の代表を担うこととに決議しま
代 表 岩村 義雄
事務局長 村上 裕隆
本田 寿久

東北ボランティアに向かう
にも、高速料金、燃費など一
回につき少なくとも20万円
近くの交通費を要します。
2016年度は148万円の
赤字が見込まれます。

神戸国際支縁機構(KISO)季刊誌

【発行人】 岩村義雄 〈携帯 070-5045-7127〉
【事務局】 〒655-0049 神戸市垂水区狩口台5-1-101
Tel(078) 782-9697 Fax(078) 784-2939
E-mail:kiso@mbe.nifty.com
【石巻支所】 阿部捷一
〒986-2121 宮城県石巻市渡波町3-5-37
Tel(0225) 24-3107
E-mail:cp.abe@royal.ocn.ne.jp
年4回 2月、5月、8月、11月
購読料 一部320円+送料80円(年ぎめ 1,600円)

東日本大震災の爪痕は、海苔、牡蠣、ホヤなどの養殖業で生計を立ててきた海に生きるおいだぢにとって、大打撃になつてすまつて、長年親しかつた同業者も犠牲になつてしまつた。石巻湾、万石浦湾、牡鹿半島沿岸の復旧はどんなんなど思つて、夜も眠らいねがつたごどがあつた。

宮城県漁業協同組合会長 丹野一雄

巷頭言

宮城県漁業協同組合会長 丹野一雄

その時、神戸から若者達が、ボランティアに来てけで何か手伝いできねすかーつて岩村義雄先生に言われで、正直、素人の学生には何もできねど思つたげど、それでも一生懸命やつてもらいました。

した。法人に移行してからも代表をしてこられました岩村義雄理事長は海外の自然災害の被災地も含め、引き続き会の若者たちに体験を継承していただき、若者たち中心の働きに刷新していきます。とくに新代表を補佐していたとき、若者たち中心の働きに刷新していきます。

東北ボランティアから定期的な炊き出し、神戸市西区の無農薬、有機栽培丹波水害、鬼怒川水害、バヌアツ、ネパール、フィジー、熊本ボランティアが新たに加わり、今も活動しています。11月13日からはベトナム水害にも大学生達が向かいます。

新代表を中心に孤児、独居の高齢者

新代表を中心に孤児、独居の高齢者、貧しい人々への活動があります用いられますようにみなさまのご支縁をお願いします。



「丹波の森ふれあいフェスティバル」
2016年10月23日 募金総額5,325円

イタリア救援金先はイタリア・ローマ
カトリック教区（教皇名義）。大阪府立
長野高等学校の生徒会も1万4669円
もの募金を寄せてくださいました。

株式会社 チュチュアンナ
代表取締役社長
上田 利昭
tutu anna™

MIYOSHI
ミヨシ石鹼株式会社
〒130-0021
東京都墨田区緑3-8-12
TEL 03-3634-1341

想いをかたちに 未来へつなぐ
 **TAKENAKA**
竹中工務店
〒541-0053 大阪市中央区本町 4-1-13
〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1

岩村カヨ子夫人と初めてお会いしたのは2011年3月20日のことです。当時ぼくはひきこもりであります。岩村義雄理事長に第1回目の東日本大震災ボランティアに誘っていただき、それから夫人には実の息子のよう不可愛がつていただきました。ボランティアによちよち歩きを始めたときから、夫人にいつも「あなたのような人はいない」と励ましていただきことでこれまでボランティアを続けられたと思っています。おいしい手料理はどこのレストラン顔負けでした。防腐剤、添加物、人工のものではなく、我が家と同じ自然食であることも安心して忘れることができません。

丹波水害が2014年8月に発生しました。神戸国際支線機構は現地で最初の炊き出しを依頼されます。夫人は150食以上の豚汁、筑前煮の具材を購入するため、素早く行動しました。その日、神戸市東遊園地の炊き出しの楠元留美子班長ですら、どれだけの分量を購入すべきか躊躇してしまった。量の計算です。大根、にんじん、豚肉など瞬時に必要量を暗算ではしき出し、2時間ほどで購入してしまいます。「計算機より早い」と身近な人々も脱帽していました。

暗証聖句もだれよりも早く覚えて正確に唱えられ、私たちがあせつたことについて懐かしく思い出します。祈りの人でもありました。夫の健康、事故がないように、たゆまず祈つておられる姿がすぐに目に浮かびます。学生たちや僕に頭を下げて、「主人

をよろしくお願ひします」が口癖でした。テレビドラマ以上にこれほど愛し合う夫婦はないのではないかといつも思はせられます。

翌年、丹波市島で記念のイベントの際、みんなで楽しみました。

夫人は今年の6月3日以後、ご自宅で末期がんの痛みに苦しんでおられました。買い物に行く時、留守番を頼られます。「痛いよー」と夫に叫んでおられます。が、どうすることもできず、おろおろしました。飛んで帰ってきた



丹波水害から1年 市島ひなたぼっこ
2015年9月13日 岩村カヨ子夫人(中央)

連載「むかし、むかし」(その十)

阿部 捷一

江戸時代	
・1611年12月2日	慶長三陸地震
M8.1	伊達正宗領内溺死者5000人
仙台平野で内陸を2キロ溯上した。北海道東部沿岸も大きな被害。(駿府記)	
・1677年11月4日	延宝房総沖地震
M8.0	津波地震とみられている。
・1703年12月31日	元禄関東地震
M8.2	津波の高さは8メートル以上20メートルもあり、津波が大吹き寄せから下田まで襲い数千人が犠牲となつた。
・1707年10月28日	宝永地震
M8.2	洋岸を襲い、瀬戸内海まで及んだ。死者2万人
・1854年12月23日	安政東海地震
M8.4	房総で波高3~4メートル沼津から伊勢湾被害甚大 死者2~3千人

(つづく)

編集後記

岩村カヨ子夫人、お疲れさまでした。夫岩村義雄理事長は、被災地や、天涯孤独の方の身元引受人、弱者や難民に寄り添うボランティア、収入は決して多くはありません。にもかかわらず、不平を漏らさず、妻として家事にいそしみ、柔軟に自宅に出入りする多くの若者たちを導きました。結婚生活のほとんどは他者のためであったにもかかわらず、身だしなみ、振る舞い、外観は生活苦を微塵も感じさせませんでした。初対面の人は裕福な奥さまに映ったことでしょう。しかし、生活の実状がだんだんわかってくるとどこにそんなマジックのような秘訣があるか不思議でした。貧しくとも「世界一の夫婦」としてうらやましがられるほど、夫婦仲は近くでも有名でした。

20人近くの若者たちに即座に食べさせるために、「飯場のおばさん」と呼ぶ女性もいました。家事らしいことを何もしたことのないように見えるのに、またたく間に包丁、調理、味付けをしてしまいます。『聰明な女性は料理がうまい』という本がありますけれど、まさしく夫人のことを描写しているかのようです。掃除をはじめ、裁縫、盛りつけなど何をするにしてもうていませんができないほど賢さがにじみ出していました。

家族間の不和、反抗期の子どもをもつ親、宗教の不信感などについて、電話だけでなく、何時間でも親身になって聴かれていました。そのことで文句を申し上げたことがあります。「かかってきましたらすぐに電話を切ってください」と。食事や入浴、プライベートのゆったりした時間はないづくめでした。とどん相手の側に感情移入していました。口は固く、個々の秘密は決してだれにも漏らさないことも信頼していました。それはすごいストレスであったと夫婦でよく話題になったものです。

炎天下で道路工事をしている労働者をみると、見知らぬ人たちにでさえ、冷たい飲物を持って行く姿は天使のようでした。

私は小学校の時から、夫人を尊敬し、まぶしいように見てきました。亡くなった私の父、また、私の母が寝込んだり、入院した時もお弁当や、洗濯、買い物など自分の家族ができないことをくださいました。多くの人々に自分の身を粉にして仕える生き様こそ「ボランティア道の母」と言えます。私たち夫婦、息子たちだけでなく、悩んでいる人にとり、かけがえのない存在がありました。

妻の役割はできませんが、岩村義雄を支えていきますから、安心してください。

本田 寿久

救援金、維持会費ご協力を感謝します。(敬称略)

2016年7月10日～10月15日

尾閥マユミ、阿久津正幸、繩手靖市(法専寺)、忍ヶ丘キリスト教会(2)、「小さくされた人々のための福音」講座(3)、定形和子、三木京子、株PeaPod&有志、土屋雅彦、毛藤智夫、塩屋キリスト教会、中島信光、笠井恵二、後藤仁美、吉田徳夫、島田信一、高島邦生(2)、川井浩三、福森恵美、福岡真悟&ワイルソン、野田和人、辻良雄(2)、春重禎子、酒井彰、酒井久美子、西上千音子、匿名、鄭惠姫、野崎和子、ゲーベルひでのみ、岩崎謙、濱京子、辻良雄(2)、西崎京子、宮本要、安立昇(2)、角家永久子、柴田正生、柴田富士子、岩村義雄、大國龍笙[伊去波夜と氣神社宮司]、木村襲治、千葉幸一、竹内牧子、さかいようこ、豊原大成[全国仏教会前理事長]、村上安世、千田豊穂[宮城県石巻市光嚴寺住職]、山野英雄、青木玉枝、株レスキューナウ危機管理研究所、市川啓一、平野昌司、藤本英樹、袴田康裕、大島修、大島敏子、イエス・キリスト聖成伝道教会、山本稔、山下妙子(2)、大田正紀、保田薰、永野由子、河内常男、岩村カヨ子、池永タケコ、第3次ネバーボランティア報告会、街頭募金、沖縄バプテスト連盟アーレ教会、阿部和夫、阿部玲子、岡本毅一

計1,114,430円

クラウドファンディング

森中あゆみ、鷹巣直美、白方誠彌(2)、赤川祥夫、鍋島隆、村田義人、古川直子、岩崎謙、アシュラム・センター 橋本恵、井川美由紀、長島康弘(2)、原浩司、松村淳子(3)、後藤由美子、村田優美子、観音寺(三鷹市)、金澤和夫、左成和朗、小川絵美、大場寿樹、上田和巳、大島健二郎、中山圭子、宮坂信章、主イエス愛教會、高橋務、菊池則子(2)、大島修、大島敏子、神戸国際キリスト教会、岩村義雄、山下妙子、石橋まり、松村達也、溝田悟士、若林淳子、武智務、村田充八、森祐理、白瀬小一郎、大田美智子

計1,039,000円

古川コンサート、岩田敬子さんから熊本に。炊き出しのため、耕支線の岸本豊氏、山本勝氏、宮城県石巻市仮設住宅の斎藤さよ子さんからの30キロの米、鈴木健一氏、フォーバンク関西からの協力、宮城県北川禮子さん、三木美保さんからたくさんの支援物資を感謝。